

御嵩町の課題

みたけのファンづくり
定住人口、
交流人口の確保

安全で快適な暮らしが営める
環境づくり

持続性のある環境未来都市を
見据えた地域づくり

安心して暮らすことができる
地域社会づくり

子育て・子育てができる環境づくり

まちの個性の掘り起しと
プロモーションの推進

若者が活躍できる新しい
しごとづくり

持続的な行財政の確立

人づくりの推進

まちづくりの理念

「参加のまちづくり」から「協働のまちづくり」へ

昭和55年にせいていされた町民憲章の精神を引き継ぎ、第四次総合計画では、「参加のまちづくり」を掲げてきました。第五次総合計画では、行政はもとより住民や事業者など様々な主体みんなでまちを育てていく「協働のまちづくり」を基本理念としていく。

みたけの将来像

計画策定にあたっては、総合計画審議会・行政改革推進委員会・住民ワークショップ・アンケート・10年後へのメッセージなど、多くの住民の方の参画を得ながら進行。町民の思いから出発する、みんなで作る「協働のまちづくり」の総合計画へとつなげていく。



御嵩町総合計画審議会



御嵩町行政改革推進委員会



総合計画 中学生ワークショップ



まちのたね見つけ隊会議



小学生 未来へのメッセージ



総合計画 成人講座ワークショップ

守っていききたい、引き継いでいききたい 目指していききたい未来のみたけの姿

- ・人と人、地域のつながり
- ・みたけの豊かな自然、歴史
- ・一人ひとりの笑顔、生きがい
- ・地域の暮らしの安全・安心

地域の暮らしの安心・安全、人と人、地域のつながりを育て、豊かな自然と歴史、文化を大切に
していくまちをみんなで作っていく。一人ひとりが活躍し、生きがいと希望に満ちた魅力あるまちへ

【第五次総合計画のキャッチコピー】

『笑顔がつながる みどりがあふれる みんなが輝くまち・みたけ』

1. 環境を誇りとするまち

- 優れた環境を次の世代にしっかりと引き継ぐまち
- 環境未来都市を目標に、率先して環境行動に取り組むまち

①みどりと水を守り育てる

- 里山や生態系の保全
- 水辺環境と農地の保全
- 自然とふれあい・居住

②環境にやさしいまちを実現する

- 環境モデル都市の推進
- 循環型社会の形成

2. 笑顔で育ちあうまち

- 生涯にわたって学びの機会があり、学びあうことができるまち
- 様々な人が社会に参画し、まちづくりを担う人材が育つまち

①未来を担う人材を育てる

- 学校でのひとづくり
- 聖書年の健全育成
- ふるさと教育の推進

②学びあいの中から人材を育む

- 人権の尊重 ●男女共同参画の推進
- 生涯学習の推進 ●ふるさと教育の推進（再掲）

3. みんなが支え合うまち

- 人と人、地域と地域がつながりを大切にするまち
- ふれあい、支え合いにより、安全・安心に暮らせるまち

①住民自治活動を活発化する

- 地域自治の強化 ●地域防災活動の推進 など

②誰もが安心して暮らせるまちにする

- 地域福祉活動の推進 ●子育て支援の充実 など

③暮らしの安全を確保する

- 地域防災体制の強化 ●防犯活動の推進 など

④町民の健康づくりを支援する

- 健康づくりの推進 ●スポーツの振興 など

4. 多くの人が行き交うまち

- 多くの御嵩ファンが訪れ、交流し、にぎわいが生まれるまち
- 人と人との交流から新しい人の活力が生まれるまち

①地域資源を生かし、交流の機会を増やす

- 観光魅力の向上 ●地域振興イベントの開催 など

②地域の魅力を効果的に発信する

- タウン・プロモーションの推進 ●地域情報の発信強化

③魅力的な産業創造に挑戦する

- 将来につなげる農林業の推進 ●工業団地の整備と企業誘致

5. 暮らしてみたくなるまち

- 御嵩らしさの魅力度を高め、個性的で豊かな暮らしができるまち
- 安全性、利便性、快適性などの暮らしの企保尿素が保障されるまち

①暮らしの安全・安心を支える

- 亜炭鉱廃坑対策の着実な推進 ●治山治水対策 など

②学びあいの中から人材を育む

- 景観の保全 ○歴史文化の保全と継承 など

③まちの特性にあわせた都市基盤・環境を整備する

- 公共交通の利用促進と体系の見直し ●道路の整備と維持管理

町民とともに進める行財政改革

【町民ニーズに対応した柔軟な行政運営】

- 行政の説明責任と透明性の向上 ●情報共有 ●職員人材育成

【自立を目指す財政運営】

- 財政基盤の強化 ●行政サービスのマネジメント強化